



## ルート リストの設定

ルート リストは、優先順位が指定されている 1 組のルート グループに関連付けられます。また、ルート リストは、1 つ以上のルート パターンに関連付けられ、そのルート グループがアクセスされる順位を決定します。この順位は、発信コールに使用可能なデバイスを検索するときの進行を制御します。

ルート リストには、ルート グループだけを入れることができます。

各ルート リストには、少なくとも 1 つのルート グループを入れる必要があります。各ルート グループには、少なくとも 1 つのデバイス、たとえば、使用可能なゲートウェイが含まれます。**Cisco Unified Communications Manager** は、デバイス タイプに基づいて、各ルート グループ内で、一部またはすべてのポートをリソースとして選択できます。一部のデバイス（たとえば、デジタル アクセス）では、すべてのポートの選択しかできません。

ルート グループは、任意の数のルート リストに追加できます。

ルート リストの追加または削除、リスト内のルート グループの追加、削除、または順序の変更をするには、次のトピックを参照してください。

- 「ルート リストの検索」(P.40-1)
- 「ルート リストの追加」(P.40-3)
- 「ルート リストへのルート グループの追加」(P.40-4)
- 「ルート リストからのルート グループの削除」(P.40-6)
- 「ルート リスト内のルート グループの順位の変更」(P.40-6)
- 「ルート リストと影響を受けるルート グループの同期化」(P.40-7)
- 「ルート リストの削除」(P.40-8)

## ルート リストの検索

ネットワーク内にはいくつかのルート リストが存在する場合があります。**Cisco Unified Communications Manager** では、条件を指定して、特定のルート リストを見つけることができます。ルート リストを見つけるには、次の手順を使用します。



(注)

**Cisco Unified Communications Manager** の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、ルート リストの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ルート リストの検索設定は保持されます。

**手順**

**ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ルートリスト (Route List)] の順に選択します。

[ルートリストの検索と一覧表示 (Find and List Route Lists)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

**ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**(注)** 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

**ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



**(注)** 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ 4** レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



**(注)** リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

**追加情報**

「[関連項目](#)」(P.40-9) を参照してください。

## ルートリストの追加

ルートリストを追加する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ルートリスト (Route List)] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [名前 (Name)] フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.), ハイフン (-)、およびアンダースコア (\_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各ルートリスト名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。



### ワンポイントアドバイス

ルートリストには、内容を簡潔に表す名前を使用してください。通常、`CompanynameLocationCalltype` の形式が、内容を簡潔に表し、ルートリストをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「CiscoDallasMetro」は、Dallas の Cisco オフィスからの、Local Access Transport Area (LATA) 間の無料コール用のルートリストを特定します。

[説明 (Description)] フィールドに説明を追加します。

- ステップ 4** ドロップダウンリストボックスで、Cisco Unified Communications Manager グループを選択します。



**(注)** ルートリストは、グループで最初の Cisco Unified Communications Manager (そのグループのプライマリ Cisco Unified Communications Manager) に登録されます。



**(注)** Cisco Unified Communications Manager が 1 つしか設定されていない Cisco Unified Communications Manager グループを選択すると、次の警告が表示されます。

**警告:** 選択された Cisco Unified Communications Manager グループに Cisco Unified Communications Manager が 1 つしか設定されていません。冗長性確保のための制御プロセスのため、2 つ以上の Cisco Unified Communications Manager を含む Cisco Unified Communications Manager グループを選択してください。

- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックして、このルートリストを追加します。



**(注)** コールを受信させるため、このルートリストにルートグループを少なくとも 1 つ追加する必要があります。このことを示すポップアップメッセージが表示されます。

[ルートリストの設定 (Route List Configuration)] ウィンドウに、新しく追加されたルートリストが表示されます。

- ステップ 6** 新しいルートリストの [このルートリストを有効にする (Enable this Route List)] チェックボックスは、デフォルトでオンになっています。

このルートリストを使用不可にする場合は、このチェックボックスをオフにします。進行中のコールは影響を受けないが、このルートリストが追加のコールを受け付けなくなることを示す、ポップアップウィンドウが表示されます。

**ステップ 7** 新しいルートリストに少なくとも 1 つのルートグループを追加します。

このリストにルートグループを追加するには、[ルートグループの追加 (Add Route Group)] をクリックし、「ルートリストへのルートグループの追加」(P.40-4) の「ステップ 4」～「ステップ 8」を実行します。



**(注)** 着信側と発信側のトランスフォーメーション情報を参照するには、このルートリストに属しているルートグループの名前をクリックします。ルートグループの名前は、[ルートリストの設定 (Route List Configuration)] ウィンドウの一番下にある [ルートリスト詳細 (Route List Details)] リストボックスに表示されています。この操作によって、選択したルートグループの [ルートリスト詳細の設定 (Route List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。

### 追加情報

「関連項目」(P.40-9) を参照してください。

## ルートリストへのルートグループの追加

新規のルートリストまたは既存のルートリストに、ルートグループを追加することができます。ルートグループは、1 つ以上のルートリストに組み込むことができます。既存のルートリストにルートグループを追加する手順は、次のとおりです。



**(注)** QSIG プロトコルを使用する MGCP ゲートウェイを含むルートグループ (QSIG ルートグループ) と、H.323 プロトコルを使用するゲートウェイを含むルートグループ (H.323 ルートグループ) を、同じルートリストに追加することはできません。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートグループとルートリスト」を参照してください。

### 始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも 1 つのルートグループを作成し、ルートリストを追加しておく必要があります。

### 手順

- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ルートリスト (Route List)] の順に選択します。
- ステップ 2** ルートグループを追加する先のルートリストを特定します。「ルートリストの検索」(P.40-1) を参照してください。
- ステップ 3** [ルートグループの追加 (Add Route Group)] をクリックして、ルートグループを追加します。  
[ルートリスト詳細の設定 (Route List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [ルートグループ (Route Group)] ドロップダウンリストボックスから、ルートリストに追加するルートグループを選択します。



(注) ルートリストに QSIG ルートグループが含まれている場合、H.323 ルートグループはドロップダウンリストボックスに表示されません。ルートグループに H.323 ルートグループが含まれている場合、QSIG ルートグループはドロップダウンリストボックスに表示されません。



(注) ローカルルートグループ機能を設定する場合は、ドロップダウンリストボックスで [標準ローカルルートグループ (Standard Local Route Group)] エントリを選択して、標準ローカルルートグループをルートリストに追加します。

詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「ローカルルートグループ」の章を参照してください。

**ステップ 5** このルートグループを介してルーティングされるコールについて、発信側の番号を操作する必要がある場合は、該当するフィールドで、発信側トランスフォーメーションをセットアップします。



(注) 発信側トランスフォーメーションの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「発信側および着信側のトランスフォーメーション」を参照してください。

**ステップ 6** このルートグループを介してルーティングされるコールについて、ダイヤルされる数字を操作する必要がある場合は、該当するフィールドで、着信側トランスフォーメーションをセットアップします。



(注) 着信側トランスフォーメーションの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「着信側番号トランスフォーメーション設定値」を参照してください。

**ステップ 7** [保存 (Save)] をクリックして、ルートグループを追加します。

ウィンドウの下部にある [ルートリスト詳細 (Route List Details)] リストに、ルートグループの詳細情報が表示されます。

**ステップ 8** このリストにルートグループをさらに追加するには、[ルートグループの追加 (Add Route Group)] をクリックし、「ステップ 3」～「ステップ 7」を実行します。

**ステップ 9** ルートリストへのルートグループの追加が終了したら、[保存 (Save)] をクリックします。



(注) 次の「ステップ 10」に進むかどうかを決定する前に、「ルートリストと影響を受けるルートグループの同期化」(P.40-7) を参照してください。

**ステップ 10** [リセット (Reset)] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップウィンドウが表示されたら、[リセット (Reset)] をクリックします。

#### 追加情報

「関連項目」(P.40-9) を参照してください。

## ルート リストからのルート グループの削除

新規のルート リストまたは既存のルート リストから、ルート グループを削除することができます。既存のルート リストからルート グループを削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** メニューバーから [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ルートリスト (Route List)] の順に選択します。
  - ステップ 2** 削除するルート グループが入っているルート リストを特定します。「[ルート リストの検索](#)」(P.40-1) を参照してください。
  - ステップ 3** [選択されたグループ (Selected Groups)] リストから、ルート グループ名を選択します。



**(注)** このリストから複数のルート グループを選択するには、**Shift** キーを押し、目的のルート グループをクリックしてください。

---

- ステップ 4** [選択されたグループ (Selected Groups)] リスト ボックスの下にある下矢印をクリックして、選択したルート グループを [削除されたグループ (Removed Groups)] リストに移動します。
  - ステップ 5** ルート グループを削除するには、[保存 (Save)] をクリックします。ページが更新されたときに、そのルート グループがルート リストから削除されています。
  - ステップ 6** [リセット (Reset)] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップ ウィンドウの [リセット (Reset)] をクリックします。
- 

### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.40-9) を参照してください。

## ルート リスト内のルート グループの順位の変更

Cisco Unified Communications Manager は、ルート リストに表示されている順に、ルート グループにアクセスします。ルート グループのアクセス順位を変更する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ルートリスト (Route List)] の順に選択します。
  - ステップ 2** ルート グループの順位を変更するルート リストを特定します。「[ルート リストの検索](#)」(P.40-1) を参照してください。
  - ステップ 3** [選択されたグループ (Selected Groups)] リストから、ルート グループを選択します。
  - ステップ 4** リスト内でルート グループを上下に移動させるには、ルート グループを選択して、リスト ボックスの右側にある上矢印または下矢印をクリックします。
  - ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。



(注) 着信側と発信側のトランスフォーメーション情報については、左側にある [ルートリスト詳細 (Route List Details)] リストのルートグループアイコンまたはルートグループ名をクリックしてください。この操作により、対応するルートグループの [ルートリスト詳細の設定 (Route List Detail Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 6** [リセット (Reset)] をクリックして、変更内容を有効にします。ポップアップウィンドウの [リセット (Reset)] をクリックします。

#### 追加情報

「関連項目」(P.40-9) を参照してください。

## ルートリストと影響を受けるルートグループの同期化

ルートグループを設定変更されたルートリストに同期化する手順は、次のとおりです。この手順によって、中断を最小限に抑えた方法で未処理の設定が適用されます (たとえば、影響を受けるデバイスの一部は、リセットまたはリスタートが不要な場合があります)。

#### 手順

- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ルートリスト (Route List)] の順に選択します。  
[ルートリストの検索と一覧表示 (Find and List Route Lists)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。
- ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。  
検索条件に一致するルートリストがウィンドウに表示されます。
- ステップ 4** 適用可能なルートグループを同期化するルートリストの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内のルートリストをすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [選択項目への設定の適用 (Apply Config to Selected)] をクリックします。  
[設定情報の適用 (Apply Configuration Information)] ダイアログが表示されます。
- ステップ 6** [OK] をクリックします。

#### 追加情報

「関連項目」(P.40-9) を参照してください。

## ルート リストの削除

Cisco Unified Communications Manager は、ルート リストをルート パターンに関連付けます。ルート リストがルート パターンに関連付けられている場合、そのリストは削除できません。ルート リストを使用しているルート パターンを検索するには、[ルートリストの設定 (Route List Configuration)] ウィンドウの [依存関係レコード (Dependency Records)] リンクをクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。



### ヒント

ルート グループとルート パターンを削除するには、まずルート パターンを削除し、次にルート リストを削除して、最後にルート グループを削除します。

ルート リストを削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** [コールルーティング (Call Routing)] > [ルート/ハント (Route/Hunt)] > [ルートリスト (Route List)] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除するルート リストを特定します。「[ルート リストの検索](#)」(P.40-1) を参照してください。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。  
ルート リストを削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** ルート リストを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル (Cancel)] をクリックします。



### 注意

ルート リストが 1 つ以上のルート パターンに関連付けられている場合、そのリストは削除できません。

### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.40-9) を参照してください。



## 関連項目

- 「ルートリストの検索」(P.40-1)
- 「ルートリストの追加」(P.40-3)
- 「ルートリストへのルートグループの追加」(P.40-4)
- 「ルートリストからのルートグループの削除」(P.40-6)
- 「ルートリスト内のルートグループの順位の変更」(P.40-6)
- 「ルートリストと影響を受けるルートグループの同期化」(P.40-7)
- 「ルートリストの削除」(P.40-8)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ルートプランの概要」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンスとルートリストの連動について」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「ローカルルートグループ」

